

平成 25 年 9 月 6 日
内閣府公共サービス改革推進室

民間競争入札実施事業
中小企業大学校における企業向け経営管理者研修等及び
中小企業支援担当者向け研修に係る業務の評価（案）について

競争の導入による公共サービスの改革に関する法律（以下「法」という。）第 7 条第 8 項の規定に基づく標記事業の評価は以下のとおりである。

I 事業の概要等

1 実施の経緯及び事業の概要

独立行政法人中小企業基盤整備機構（以下「機構」という。）は、中小企業大学校（以下「大学校」という。）9校において、平成 21 年以降、法に基づき、企業向け研修に係る業務及び施設の運営等業務について複数年度の事業期間で民間競争入札を実施している。

標記の業務については、これまで機構が自ら実施してきたものであるが、先行する業務の終了期間にあわせ、次期事業では統合するため、公共サービス改革基本方針（平成 24 年 7 月 20 日閣議決定）において、平成 25 年度単年度の事業期間で民間競争入札を実施することを決定した。

これを受けて機構は、官民競争入札等監理委員会の議を経て定めた「中小企業大学校における企業向け経営管理者研修等及び中小企業支援担当者向け研修に係る業務における民間競争入札実施要項」（以下「実施要項」という。）に基づき、民間競争入札を実施し、受託事業者を決定した。

その概要は以下のとおりである。

なお、次期事業が平成 26 年 4 月から予定しているため、実施要項に基づき、平成 25 年 4 月から 6 月までの 3 か月間の実施状況について評価を行うものである。

事 項	内 容
業務内容	機構が設置する大学校 9 校の、企業向け経営管理者研修、経営後継者研修及び工場管理者研修並びに中小企業支援担当者向け研修に係る業務（企画及び募集に係る業務を除く）
事業実施 (予定) 期間	平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日（1 年間）
受託事業者	<p>(1) 旭川校：株式会社東京リーガルマインド</p> <p>(2) 仙台校：TAC 株式会社</p> <p>(3) 三条校：NSG ひめさゆり共同事業体</p> <p style="padding-left: 40px;">受託者代表 学校法人新潟総合学院</p> <p style="padding-left: 40px;">構成員 愛宕商事株式会社</p> <p style="padding-left: 40px;">構成員 新潟県ビル管理協同組合</p> <p style="padding-left: 40px;">構成員 株式会社サン・ミール</p> <p>(4) 東京校：一般社団法人日本能率協会</p> <p>(5) 瀬戸校：一般社団法人中部産業連盟</p> <p>(6) 関西校：株式会社東京リーガルマインド</p> <p>(7) 広島校：麻生教育サービス株式会社</p> <p>(8) 直方校：麻生教育サービス株式会社</p>

受託事業者 (続き)	(9) 人吉校：麻生教育サービス株式会社
落札金額 (税込)	(1) 旭川校： 5, 985, 000円 (2) 仙台校：13, 440, 000円 (3) 三条校： 5, 602, 800円 (4) 東京校：72, 999, 780円 (5) 瀬戸校： 6, 577, 956円 (6) 関西校：10, 499, 000円 (7) 広島校： 6, 195, 000円 (8) 直方校： 5, 775, 000円 (9) 人吉校： 5, 775, 000円
実施に当たり確保されるべきサービスの質	以下の4つの指標について、機構が設定した「要求水準」を達成すること。 【要求水準】 ① 受講者の満足度 90.0% ② 講師の満足度 90.0% ③ 作業遅延の件数 0件 ④ 研修の中断回数 0回 なお、④研修の中断回数について、「要求水準値」に満たない達成状況であった場合には、四半期ごとに支払う研修委託費のうち、最終四半期において支払おうとする研修委託費の5/100を減額することができる。

2 受託事業者決定の経緯

入札説明会には、各大学校において複数の参加者があったが、入札参加者は、瀬戸校で3者、東京校、関西校、広島校で2者、その他の5校は1者であった。

大学校各校において、開札を行い、総合評価により受託事業者を決定した。

ただし、仙台校においては、入札参加者の入札価格が予定価格を上回っており、再度の入札を2度行っても入札価格が予定価格を上回ったことから、落札者を決定するに至らなかった。そこで機構は、随意契約により上記事業者と契約を締結した。

なお、すべての大学校において、既に先行する事業を受託している事業者が受託事業者となっている。

大学校名	入札参加者	入札参加者のうち、参加資格及び必須審査項目を満たしていた者	参加資格を満たしていた者のうち、入札予定価格範囲内の者	開札日
旭川校	1	1	1	平成25年2月6日
仙台校	1	1	0	平成25年2月6日
三条校	1	1	1	平成25年2月6日
東京校	2	2	2	平成25年2月6日
瀬戸校	3	3	3	平成25年2月6日
関西校	2	2	2	平成25年2月6日
広島校	2	2	2	平成25年2月6日
直方校	1	1	1	平成25年2月6日
人吉校	1	1	1	平成25年2月6日

II 評価

1 評価方法について

機構から提出された実施状況についての報告（別添）に基づき、サービスの質の確保、実施経費等の観点から、評価を行うものとする。

2 対象公共サービスの実施内容に関する評価

(1) 対象公共サービスの質

① 受講者の満足度

研修のコース毎に研修の受講者に対し、4段階評価（満足、やや満足、やや不満足、不満足）でアンケート調査を行い、全体に占める上位2段階（満足、やや満足）の割合により、研修の受講者の満足度を算出した。

三条校（88.2%）を除き、要求水準値の90.0%を達成している。

なお、実施要項では、アンケートの回収率について「受講者数の90%以上」としているが、東京校（88.7%）を除き、満たしている。

	要求水準値	実績値	達成率	アンケート	
	A	B	B/A	実施回数	回収率
旭川校	90.0%	100.0%	111.1%	1回	100.0%
仙台校	90.0%	100.0%	111.1%	1回	93.3%
三条校	90.0%	88.2%	98.0%	1回	100.0%
東京校	90.0%	91.0%	101.1%	14回	88.7%
瀬戸校	90.0%	96.4%	107.1%	4回	94.8%
関西校	90.0%	90.2%	100.2%	4回	98.0%
広島校	90.0%	100.0%	111.1%	1回	100.0%
直方校	90.0%	100.0%	111.1%	1回	100.0%
人吉校	90.0%	91.7%	101.9%	1回	100.0%

※実績値、実施回数、回収率は平成25年4月から6月までの数値

② 講師の満足度

研修のコース毎に研修の講師に対し、4段階評価（満足、やや満足、やや不満足、不満足）でアンケート調査を行い、全体に占める上位2段階（満足、やや満足）の割合により、研修の講師の満足度を算出した。

すべての大学校で要求水準値の90.0%を達成している。

なお、実施要項では、アンケートの回収率について「講師数の90%以上」としているが、すべて満たしている。

	要求水準値	実績値	達成率	アンケート	
	A	B	B/A	実施回数	回収率
旭川校	90.0%	100.0%	111.1%	1回	100.0%
仙台校	90.0%	100.0%	111.1%	1回	100.0%
三条校	90.0%	100.0%	111.1%	1回	100.0%
東京校	90.0%	94.4%	104.9%	14回	96.9%
瀬戸校	90.0%	90.5%	100.6%	4回	100.0%
関西校	90.0%	90.3%	100.3%	4回	100.0%

広島校	90.0%	100.0%	111.1%	1回	100.0%
直方校	90.0%	100.0%	111.1%	1回	100.0%
人吉校	90.0%	100.0%	111.1%	1回	100.0%

※実績値、実施回数、回収率は平成25年4月から6月までの数値

③ 作業遅延の件数

作業遅延とは、以下の作業について、機構又は講師が示した所定の期日までに作業が完了しなかった件数（民間事業者の責めに帰さない事由によるものを除く。）であるが、すべての大学校で作業遅延が発生したことはなかった。

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 講師承諾書又は承認書の回収 2. 研修教材、参考図書の納品 3. 大学校施設外で実施する講義又は実習の会場確保 4. 受講者への受講決定通知及び受講連絡文書の送付 5. 研修会場の設営（机の配置、教材等の配布、研修資材の準備） 6. 講師の旅費、謝金等の支払準備 |
|---|

	要求水準値	実績値
旭川校	0件	0件
仙台校	0件	0件
三条校	0件	0件
東京校	0件	0件
瀬戸校	0件	0件
関西校	0件	0件
広島校	0件	0件
直方校	0件	0件
人吉校	0件	0件

※実績値は平成25年4月から6月までの数値

④ 研修の中断件数

研修の中断とは、研修業務の不備（民間事業者の責めに帰さない事由によるものを除く。）に起因して、研修が一時的に実施されないことにより、研修の所期の目的が達成できなくなった場合であるが、すべての大学校で研修の中断が発生したことはなかった。

	要求水準値	実績値
旭川校	0回	0回
仙台校	0回	0回
三条校	0回	0回
東京校	0回	0回
瀬戸校	0回	0回
関西校	0回	0回
広島校	0回	0回
直方校	0回	0回

人吉校	0回	0回
-----	----	----

※実績値は平成25年4月から6月までの数値

(2) 対象公共サービスの質の評価

各大学校において、要求水準は概ね達成されている。

唯一未達成である、三条校における「受講者の満足度」については、オリエンテーション等で必要以上の事務連絡を行い、時間を費やしたことが要因であることを機構と受託事業者の間で情報共有がなされており、双方の協議の上、現在は必要事項のみ事務連絡を行うよう改善が図られている。

なお、「研修の中断件数」については、大学校すべてで要求水準値を達成しているため、研修委託費の減額となる事態は発生していない。

(3) 民間事業者からの改善提案による実施事項

受託事業者からの各々の提案により、それぞれの大学校において、オリエンテーションのリハーサルの実施、研修運営の進捗チェックリストの独自作成、研修期間中に受講者からの意見やセルフモニタリングの結果等による研修内容の改善提案などが実施された。民間事業者の創意工夫が発揮されているものと評価できる。

(4) 実施経費

大学校全体では、従来経費に比べ1年間で約2,347万円（15.0%）の削減が図られている。

また、各大学校で見ると、仙台校を除く8校について、経費の削減となっている。

なお、仙台校については、地域のニーズ等を踏まえ支援担当者向け研修を従来より増やしたため実施経費が増加したものである。

(単位：円)

大学校名	従来経費 A	民間競争入札後 B	増減額 B-A	増減率
旭川校	7,072,000	5,985,000	△1,087,000	△15.4%
仙台校	13,227,000	13,440,000	213,000	1.6%
三条校	6,285,000	5,602,800	△682,200	△10.9%
東京校	73,207,000	72,999,780	△207,220	△0.3%
瀬戸校	11,111,000	6,577,956	△4,533,044	△40.8%
関西校	16,262,000	10,499,000	△5,763,000	△35.4%
広島校	9,789,000	6,195,000	△3,594,000	△36.7%
直方校	9,867,000	5,775,000	△4,092,000	△41.5%
人吉校	9,504,000	5,775,000	△3,729,000	△39.2%
計	156,324,000	132,849,536	△23,474,464	△15.0%

3 評価のまとめ

大学校各校において、研修の運営に当たり、研修開始前までの事務手続及び会場設営等の準備が確実に行われるとともに、研修期間中の業務も機構と密に連携して円滑に業務が行われており、確保されるべき公共サービスの質として設定された要求水準については概ね達成している。

唯一未達成となっている、三条校の「受講者の満足度」についても、機構と受託事業者との間で要因が情報共有され、既に改善が行われている。

また、実施経費について、大学校全体では、従来経費に比べ1年間で約2,347万円（15.0%）

の削減が図られている。

サービスの質の維持向上及び経費削減の双方の実現が、概ね達成されているものと評価できる。

4 今後の事業

本事業は概ね良好な実施状況であり、次期事業においても引き続き民間競争入札を実施することが適切である。

ただし、事業規模の拡大や業務内容の効率化を図るために、先行して民間競争入札を実施している「中小企業大学校における企業向け研修に係る業務及び施設の運営等業務」と一括して調達することが必要である。また、競争性を確保すべく、複数年度による事業実施、民間事業者が人材の確保や配置をするための十分な期間の設定など、入札参加者拡大に向けた取組を行う必要がある。

機構においては、全国の大学校の実施状況を俯瞰的に把握し、各々の大学校で実施された受託事業者による改善提案等を他の大学校に波及させるなど水平的展開を行うことにより、更に大学校全体の研修の質の向上につなげていくことが肝要であると考えます。

以上

平成 25 年 9 月 4 日
独立行政法人中小企業基盤整備機構

中小企業大学校における企業向け経営管理者研修等及び中小企業支援担当者向け研修に係る業務の実施状況について（平成 25 年 4 月 1 日～平成 25 年 6 月 30 日時点分）

I 事業の概要等

1. 委託業務内容

独立行政法人中小企業基盤整備機構（以下「機構」という。）が設置する中小企業大学校（以下「大学校」という。）における、企画及び募集を除いた各校の企業向け経営管理者研修、経営後継者研修及び工場管理者研修並びに中小企業支援担当者向け研修に係る業務。

2. 事業実施経緯

民間競争入札により別に民間委託している「中小企業大学校における企業向け研修に係る業務及び施設の運営等業務」の実施状況を踏まえ、委託契約の対象範囲を拡大した。

また、第二期中期目標期間の最終年度末が平成 26 年 3 月末であることから単年度契約とした。

3. 事業実施期間

平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日（1 年）

4. 受託した民間事業者

- | | |
|-------------|----------------|
| (1) 旭川校：受託者 | 株式会社東京リーガルマインド |
| (2) 仙台校：受託者 | TAC株式会社 |
| (3) 三条校：受託者 | NSGひめさゆり共同事業体 |
| 受託者代表 | 学校法人新潟総合学院 |
| 構成員 | 愛宕商事株式会社 |
| 構成員 | 新潟県ビル管理協同組合 |
| 構成員 | 株式会社サン・ミール |
| (4) 東京校：受託者 | 一般社団法人日本能率協会 |
| (5) 瀬戸校：受託者 | 一般社団法人中部産業連盟 |
| (6) 関西校：受託者 | 株式会社東京リーガルマインド |
| (7) 広島校：受託者 | 麻生教育サービス株式会社 |
| (8) 直方校：受託者 | 麻生教育サービス株式会社 |
| (9) 人吉校：受託者 | 麻生教育サービス株式会社 |

II 確保すべき質の達成状況及び評価

事業の実施に当たり確保されるべきサービスの質を確保するための要求水準指標は、以下のとおりである。

【要求水準】

- ① 受講者の満足度、②講師の満足度、③作業遅延の件数、④研修の中断回数

なお、それぞれの要求水準指標につき、機構が設定した「要求水準値」を設けている。また、中小企業大学校における企業向け経営管理者研修等及び中小企業支援担当者向け研修に係る業務民間競争入札実施要項（以下、「実施要項」という。）に基づき、「研修の中断回数」における要求水準値の達成状況について、要求水準値に満たないこととなった場合に機構が民間事業者へ支払う委託費を減額することができる。要求水準値の達成状況は以下のとおりである。

1. 実施状況

(1) 受講者の満足度

研修の受講者に対して行うアンケート調査の研修運営のサービス全体に対する満足度の実績値（経過値）は、三条校を除いて要求水準値を達成している。

	要求水準値	実績値 (4～6月)	達成率 (対要求水準値)	アンケート 実施回数 (4～6月)	アンケート 回収率 (4～6月)
旭川校	90.0%	100.0%	111.1%	1回	100.0%
仙台校	90.0%	100.0%	111.1%	1回	93.3%
三条校	90.0%	88.2%	98.0%	1回	100.0%
東京校	90.0%	91.0%	101.1%	14回	88.7%
瀬戸校	90.0%	96.4%	107.1%	4回	94.8%
関西校	90.0%	90.2%	100.2%	4回	98.0%
広島校	90.0%	100.0%	111.1%	1回	100.0%
直方校	90.0%	100.0%	111.1%	1回	100.0%
人吉校	90.0%	91.7%	101.9%	1回	100.0%

(2) 講師の満足度

研修の講師に対して行うアンケート調査の研修運営担当者に対する満足度の実績値（経過値）は、すべての大学校で要求水準値を達成している。

	要求水準値	実績値 (4～6月)	達成率 (対要求水準値)	アンケート 実施回数 (4～6月)	アンケート 回収率 (4～6月)
旭川校	90.0%	100.0%	111.1%	1回	100.0%
仙台校	90.0%	100.0%	111.1%	1回	100.0%
三条校	90.0%	100.0%	111.1%	1回	100.0%
東京校	90.0%	94.4%	104.9%	14回	96.9%
瀬戸校	90.0%	90.5%	100.6%	4回	100.0%
関西校	90.0%	90.3%	100.3%	4回	100.0%
広島校	90.0%	100.0%	111.1%	1回	100.0%
直方校	90.0%	100.0%	111.1%	1回	100.0%
人吉校	90.0%	100.0%	111.1%	1回	100.0%

(3) 作業遅延の件数

機構又は講師が示す所定の期日までに、完了しない作業の件数（民間事業者の責めに帰さない事由によるものを除く。）。対象となる作業は、次のとおりとする。

1. 講師承諾書又は承認書の回収
2. 研修教材、参考図書納品
3. 大学校施設外で実施する講義又は実習の会場確保
4. 受講者への受講決定通知及び受講連絡文書の送付
5. 研修会場の設営（机の配置、教材等の配布、研修資材の準備）
6. 講師の旅費、謝金等の支払準備

業務全般に係る対象期間の実績値（経過値）は下表のとおりであり、要求水準値を達成している。

	要求水準値	実績値 (6月まで)	達成/未達成
旭川校	0件	0件	達成
仙台校	0件	0件	達成
三条校	0件	0件	達成
東京校	0件	0件	達成
瀬戸校	0件	0件	達成
関西校	0件	0件	達成
広島校	0件	0件	達成
直方校	0件	0件	達成
人吉校	0件	0件	達成

(4) 研修の中断回数

研修業務の不備（民間事業者の責めに帰さない事由によるものを除く。）に起因する研修の中断回数。研修の中断とは、研修が一時的に実施されないことにより、研修の所期の目的が達成できなくなった場合をいう。

業務全般に係る調査対象期間の実績値（経過値）は下表のとおりであり、要求水準値を達成している。

	要求水準値	実績値 (6月まで)	達成/未達成
旭川校	0回	0回	達成
仙台校	0回	0回	達成
三条校	0回	0回	達成
東京校	0回	0回	達成
瀬戸校	0回	0回	達成
関西校	0回	0回	達成
広島校	0回	0回	達成
直方校	0回	0回	達成
人吉校	0回	0回	達成

2. 研修回数の実績

平成 25 年度に実施する研修回数及び調査対象期間（4～6 月）に開講した研修回数実績は以下のとおりである。

	研修課程	研修回数実績 (4～6月)	年間予定回数	進捗率 (対年間予定回数)
旭川校	中小企業向け	0回	1回	0.0%
	支援担当者向け	1回	12回	8.3%
仙台校	中小企業向け	0回	2回	0.0%
	支援担当者向け	1回	7回	14.3%
三条校	中小企業向け	0回	2回	0.0%
	支援担当者向け	1回	2回	50.0%
東京校	中小企業向け	3回	5回	60.0%
	支援担当者向け	6回	46回	13.0%
瀬戸校	中小企業向け	2回	2回	100.0%
	支援担当者向け	1回	4回	25.0%
関西校	中小企業向け	1回	3回	33.3%
	支援担当者向け	1回	6回	16.7%
広島校	中小企業向け	0回	2回	0.0%
	支援担当者向け	1回	6回	16.7%
直方校	中小企業向け	1回	2回	50.0%
	支援担当者向け	0回	5回	0.0%
人吉校	中小企業向け	0回	1回	0.0%
	支援担当者向け	1回	5回	20.0%
合計	中小企業向け	7回	20回	35.0%
	支援担当者向け	13回	93回	14.0%

3. 評価

要求水準指標について、すべての大学校で調査対象期間の実績値（経過値）は、三条校の「受講者の満足度」を除いて要求水準値を達成している。

三条校において「受講者の満足度」が未達成となった要因を分析したところ、オリエンテーション等で事務連絡が丁寧過ぎることで必要以上の時間を費やしたことが理由に挙げられている。このため、現在は連絡事項について機構と事前に打ち合わせを行い、必要事項を簡潔に短時間で対応するよう調整することとしている。

なお、要求水準指標のうち「研修の中断回数」については、実施要項上、要求水準値未達成の場合は、第4四半期の研修委託費からの減額規定があるが、調査対象期間においては要求水準値を達成しているため、減額となる事態は発生していない。

III 民間事業者からの提案による業務実施状況

研修の運営に当たり、開始前までの事務手続及び会場設営等の準備が確実に行われ、研修期間中の業務も機構担当者と密に連携して円滑に業務が行われており、民間事業者による創意工夫の主な内容は下記のとおりである。

- ・オリエンテーションのリハーサルの提案がなされ実行された。（旭川校）
- ・研修運営の進捗チェックリストを独自に作成している（瀬戸校及び広島校）
- ・研修期間中に受講者からの意見やセルフモニタリングの結果などにより研修内容の改善策を検討し機構に提案した。（関西校）

IV 研修業務の運営に要した経費

調査対象期間の実績は以下のとおりである。

なお、仙台校が従来経費と比較して研修委託費が増えている要因として、研修回数が増えていることが挙げられる。

(税込)

	従来経費（年間） ①	実績値（4～6月） ②	研修委託費（年間） ③	差額 ④=③-①	増減率 ③/①
旭川校	7,072,000円	1,496,250円	5,985,000円	△1,087,000円	△15.4%
仙台校	13,227,000円	3,360,000円	13,440,000円	213,000円	1.6%
三条校	6,285,000円	1,400,000円	5,602,800円	△682,200円	△10.9%
東京校	73,207,000円	18,249,000円	72,999,780円	△207,220円	△0.3%
瀬戸校	11,111,000円	1,644,489円	6,577,956円	△4,533,044円	△40.8%
関西校	16,262,000円	2,624,750円	10,499,000円	△5,763,000円	△35.4%
広島校	9,789,000円	1,548,750円	6,195,000円	△3,594,000円	△36.7%
直方校	9,867,000円	1,443,750円	5,775,000円	△4,092,000円	△41.5%
人吉校	9,504,000円	1,443,750円	5,775,000円	△3,729,000円	△39.2%
合計	156,324,000円	33,210,739円	132,849,536円	△23,474,464円	△15.0%

V 全体的な評価

要求水準値は、①受講者の満足度、②講師の満足度、③作業遅延の件数、④研修の中断回数の4指標において、三条校を除く8校で要求水準値を達成した。三条校では、①受講者の満足度の1指標において要求水準値を下回ったものの、要因を分析し、既に対策を取っている。

モニタリングの結果から、実施体制では、研修や中小企業支援の経験者が配置されている大学校もあり、概ねそうしたところでは、きめ細かで丁寧な対応や積極的な取組が実行されている。

研修運営の実施状況に関しては、機構から手交した研修運営マニュアルや機構からの助言を受けながら、適切に対応されており、一部の大学校では、対象業務の改善に向けた積極的な取組や創意工夫が見受けられるところもある。

一方、関係者等の意見には概ね好意的な意見が多いものの、一部の大学校において、業務が不慣れであることや研修内容が理解不足であることから生じたものと推察される苦言もある。これは、調査対象期間が限られていることにも起因しているため、今後、民間事

業者の努力と機構の適時適切な助言により、改善されるものと判断できる。

以上のことから、本事業については、9校共に概ね円滑に業務を実施していると評価できる。

なお、次回の民間競争入札となる第三期中期計画（平成26年度開始）においては、民間競争入札により別に民間委託している「中小企業大学校における企業向け研修に係る業務及び施設の運営等業務」と一括して調達することにより、委託業務内容の効率化が可能となることから、応札者の増加が期待できる。

以上